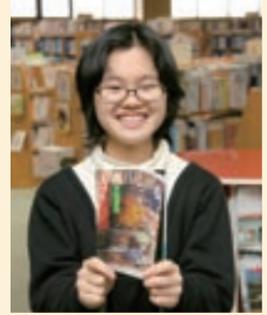


私の推薦



なかの もえ
中野 萌 さん
(富の原中央)

百器徒然袋 風

京極夏彦 著

私のお勧めの一冊は、「百器徒然袋 風」という本です。この本は妖怪シリーズと呼ばれる中の番外編にあたる探偵小説です。探偵小説と聞くと、明智小五郎や金田一耕助などの名探偵を思い浮かべる人もいると思いますが、この作品に出てくる榎木津礼二郎は調査も捜査も推理もしません。でも事件は即解決。彼の忠実な「下僕」である益田や本島の他にも、神社の神主で、古書店の店主で、洋裁屋でもある京極堂こと中禅寺秋彦も登場します。このシリーズは長いものが多く、とっつきにくい所があるかもしれませんが、この本は中編集で、何よりも勢いのある作品なので、すらすらと読めてしまいます。時代物が好きな人にもお勧めできる一冊です。

目より情報

素敵な壁面飾りを作ませんか?
4月16日(日)午後2時からのお楽しみ会は、春をテーマに壁面飾りを作ります。みんなのアイデアで、館内に素敵な壁面飾りを作しましょう。(泗水図書館)

4月ってどんな月?
春爛漫の言葉どおり、色々な花が咲き乱れる季節。昔の呼び方では卯月(うづき)、卯の花月と言います。旧暦の4月は今の5月頃にあたり、その頃卯の花が咲くのでこう呼ばれるようになりました。



5月ごろ(旧暦の4月)に咲く「卯の花」

また、農作物の種を植える「植え月」が縮まって「うづき」になったという説もあります。(中央公民館図書室)

4月23日には、本を贈ってみませんか?
4月23日は、スペインのカタロニア地方では、聖人サン・ジョルディの祭りの日で、男女が聖人のシンボル「赤いバラ」を添えて、本をプレゼントし合う風習があります。

また、この日は「ドン・キホーテ」の作家「セルバンテス」の命日にちなんで「本の日」と称した本の青空市がまちで開かれて賑わいます。(中央公民館図書室)

問い合わせ先
中央公民館図書室 ☎ (25) 1672
七城公民館図書室 ☎ (25) 1580
旭志公民館図書室 ☎ (37) 3111 内線 303
泗水図書館 ☎ (38) 6866

4月の予定

	中央公民館 図書室	七城公民館 図書室	旭志公民館 図書室	泗水図書館
1 土			閉室日	
2 日	閉室日	閉室日	閉室日	
3 月				休館日
4 火				
5 水				
6 木				
7 金				
8 土	きくちおはなしのもり おはなしかい 10:30~		閉室日	おはなしかい 11:00~
9 日	閉室日	閉室日	閉室日	
10 月				休館日
11 火				
12 水				
13 木				
14 金				
15 土	閉室日		閉室日	古典を楽しむ会 14:00~
16 日	閉室日	閉室日	閉室日	お楽しみ会 14:00~
17 月				休館日
18 火				
19 水				
20 木				
21 金				
22 土	きくちおはなしのもり おはなしかい 10:30~		閉室日	おはなしかい 11:00~
23 日	閉室日	閉室日	閉室日	
24 月				休館日
25 火				
26 水				
27 木				
28 金				
29 土	閉室日	閉室日	閉室日	
30 日	閉室日	閉室日	閉室日	

新着図書情報

沖で待つ 糸山秋子 著
仕事のことだったら、そいつのために何だってしてやる。そんな同期の太っちゃんが死んだ。約束を果たすべく、私は彼の部屋にしのびこむ。仕事を通して結ばれた男女の信頼と友情を描く表題作のほか、「勤労感謝の日」を収録。「芥川賞(第134回)」

弥勒の月 あさのあつこ 著
小間物問屋の若おかみの溺死体が見つかった。同心・信次郎は、妻の亡骸を前にした主人・清之介の立ち振る舞いに違和感を覚える。この男はただの商人ではない。男たちの葛藤が炙り出す真実とは? 哀感と憐憫の時代小説。

40 翼ふたたび 石田衣良 著
人生の半分が終わってしまった。それも、いいほうの半分が……。投げやり始めたプロデュース業で、様々な同世代の依頼人に出会い変身する吉松喜一、40歳。生きることの困難と、その先の希望を見つめた感動作。

イングリッシュ・アサシン ダニエル・シルヴァ 著
謎の人物より絵画の修復を依頼され、ガブリエルはチューリッヒへと赴く。邸宅内で彼を待ち受けていたのは、依頼主の亡骸だった……。中王国・スイスの暗部を暴く、「ナチス3部作」の第1作。

国定忠治 津本 陽 著
弱気を扶け、強気を挫く。いまだ庶民に愛される「悪党」は、いかにあったか。講談「赤城の山も今宵限り……」で有名な国定忠治の姿を描く一大ピカレスクロマン。

忘れないと誓ったばかりがいた 平山瑞穂 著
高校時代。優等生だったばかりの心を一瞬にして奪い去った君。なのに、いま、ぼくは君の顔さえも思い出せないんだ……。時の裂け目に消え行く少女と、避けられない運命を変えようともかく少年の恋を描いた、激しく切ない恋愛小説。

ミドリノオバサン 伊藤比呂美 著
子育てが一段落して、のめり込んだものは室内園芸。鉢植は200鉢を超え、まだまだ増えていく。生命のいとおいさがあふれる、イラストいっぱいのエッセイ。

経産省の山田課長補佐、ただいま育休中 山田正人 著
子どもと接する楽しさ・大変さ、日本の子育て環境の良いとこ悪いところ……。働き盛りのパパが体験した、とびきりユニークな1年間。とっても温かくなって、すこし考えさせられる物語。

超バカの壁 養老孟司 著
若者の問題、自分の問題、テロの問題、男女の問題、子どもの問題、お金の問題……。現代人の抱える様々な「壁」を越えるヒントが詰まった、「バカの壁」「死の壁」に続く第3弾。この「壁」を越える方法は、自分の頭で生み出せ!

異国の父母 中国残留孤児を育てた養父母の群像 浅野慎一、トウ・ガン 著
先の大戦時の混乱のさなか、中国人に託され、中国にとどまらざるを得なかった日本人の子どもたち。養父母たちはどんな思いで異国の子どもを育て、日本へ返したのか。現地で行われた貴重な聞き取り調査の記録。

ぼくはマサイ ライオンの大地で育つ ジョゼフ・レマソライ・レクトン 著
ライオンを恐れないで、夢をもちつづけてください……。『目標を定めて努力すれば、どんな困難も乗り越えられる』マサイ族の少年が、周囲の理解を得て学業をつづけ、アメリカの教壇に立つまでを描く。

ウルフさんのやさしい畑 カンタン・グレバン 絵 クレイアー・ポーリエー 作
お腹がすいて、どうしようもなくなったオオカミのウルフさん。とうとう、やさしい畑をつくることにしたのですが……。やさしいつくりを通じてどうぶつたちの心温まる交流を描いた絵本。



おさかな 金子みすゞ 作
金子みすゞの詩の世界が、親しみやすくかわいキャラクターで楽しめる「みすゞこれくしょん」。

ブーフーウー 飯沢 匡 作、土方重巳 文
文句ばかりの兄さんブー、食いしん坊の2番目のブー、頑張り屋の弟ウー。「3匹のこぶた」の舞台をメキシコに移したテレビのミュージカル劇を単行本化。気が良くて淋しがり屋のオオカミと対決する3匹のこぶたのお話。

数の大常識 秋山 仁 監修、笠原 秀 文
いろいろな数字のはじまり、素数とセミの不思議な関係、単位のひみつや計算のひみつなど、教科書でおそわる基本的な項目から、知識の幅を広げる内容まで、おもしろくて不思議な「数」の世界を徹底解剖。

ひなた 吉田修一 著
レイと尚純のカップル、その兄の浩一・桂子夫婦、そして浩一の友人田辺。それぞれボタンのかけ違った恋愛模様。どんなに身近にいようと、さらけださないことで一見何事もないようにみえてしまう危うい人間関係を描いた作品。

なにももたないくまの王さま エリック・ファン・オス、エレ・ファン・リースハウト 文
好きなことが何もできないくまの王さまは、お城を飛び出し、街に古い小さな部屋を借りる。歯を磨く係、体の毛をとく係ももういない。何が自分にとって大事か心地よいかわかっていれば、立派な地位も、豪華な家もいらぬ。「なにももたない王さまなんて」と笑われた王さまが返した言葉とは……。

掘るひと 岩阪恵子 著
日当たりの悪い裏庭に佐保子は穴を掘る。人々が足を止めては眺めてゆく。そして、背後から彼女を見つめる人物がいる。記憶が混濁した義母と暮らし、単身赴任でたまに戻ってくる夫は彼女の抱えている空洞に気付こうともしない。中年女性の心の罅(ひだ)を鋭く切り取った9つの短篇集。

孤独でも生きられる 曾野綾子 著
身近な人とのトラブル、老いや病の苦しみ、そして死。人はどのように立ち向かい、いかに孤独を生きればいいのか。「限りなく一人ずつ大切な個性があり、多少右往左往することはあっても、誰もがその人らしく輝き得る。」そう語る著者からの強く生きるためのメッセージ集。



世にも美しい日本語入門 安野光雅、藤原正彦 著
美しい日本語に触れないと美しく繊細な情緒が育たない。例えば、文学に一切触れず「好き」「大好き」くらいの語彙(ごい)しかない人間はケダモノの恋しか出来そうもない。と極論を放つ藤原氏。若い頃から名文に親しむ大切さを恩師安野氏と熱く語り合う著書。